ＸＭＬコンソーシアム

第 4 回 総 会

議　　案　　書

2004 年 6 月 11 日 (金)
於　東京コンファレンスセンター品川

目　次

議案事項

第 1 号議案 2003 年度活動報告

- XML コンソーシアム組織 1-1
- 役員構成 1-2
- 活動実績 1-5

第 2 号議案 2003 年度収支報告

- 収支計算書 2-1
- 貸借対照表･財産目録 2-2
- 監査報告書 2-3

第 3 号議案 2004 年度活動／予算計画

- 2004 年度　基本方針 3-1
- 2004 年度　年間主要活動計画 3-2
- 2004 年度　予算計画 3-4

第 4 号議案 2004 年度　理事／監事選任

- 2004 年度　ＸＭＬコンソーシアム役員構成 4-1

第 5 号議案　　会員規約改定

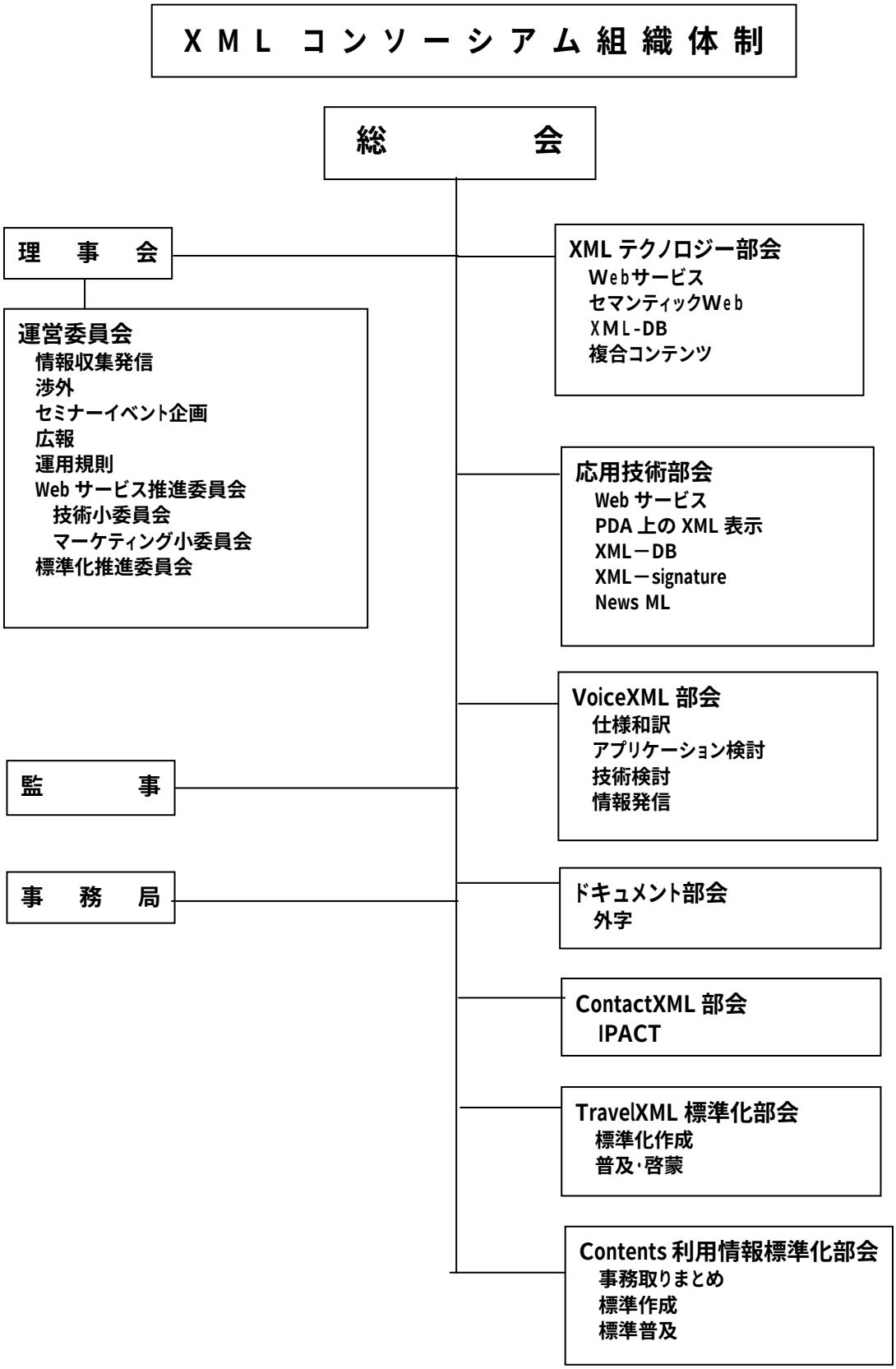
- 目的 5-1
- 活動 5-1
- 種別 5-1
- 顧問 5-1
- 学生会員 5-1
- 会費規定 5-1

第１号議案

2003年度　活動報告

ＸＭＬコンソーシアム

1．2003 年度 XMLコンソーシアム組織 (2004年 3 月 31 日現在)



2．2003 年度 XMLコンソーシアム役員構成

(敬称略･会社名順 2004 年 3 月 31 日現在)

【理事】

上野 守生 (ウエノ モリオ)
会社名: 亜細亜証券印刷株式会社
役職: 代表取締役社長

下川 和男 (シモカワ カズオ)
会社名: イースト株式会社
役職: 常務取締役

平野洋一郎 (ヒラノ ヨウイチロウ)
会社名: インフォテリア株式会社
役職: 代表取締役社長

鵜澤 幹夫 (ウザワ ミキオ)
会社名: 株式会社エーエスピージェーピー
役職: 代表取締役

長野 宏宣 (ナガノ ヒロノブ)
会社名: NTTコムウェア株式会社
役職: 取締役 ビジネス創出部長

鶴保 征城 (ツルホ セイシロ)
会社名: NTTソフトウェア株式会社
役職: 取締役相談役

山本 修一郎 (ヤマモト シュウイチロウ)
会社名: 株式会社NTTデータ
役職: 技術開発本部 副本部長

塩川 公男 (シオカワ キミオ)
会社名: 株式会社大塚商会
役職: 取締役 Web事業推進部

植松 裕次 (ウエマツ ユウジ)
会社名: サン･マイクロシステムズ株式会社
役職: 執行役員チーフテクノロジスト

浮川 初子 (ウキガワ ハツコ)
会社名: 株式会社ジャストシステム
役職: 代表取締役専務

石田 史行 (イシダ フミユキ)
会社名: 東芝ソリューション株式会社
役職: ソリューション第三事業部 参事

田原 春美 (タハラ ハルミ)
会社名: 日本アイ･ビー･エム株式会社
役職: ソフトウェア事業部 エマージング･テクノロジープログラム担当 部長

鈴木 俊宏 (スズキ トシヒロ)
会社名: 日本オラクル株式会社
役職: コアテクノロジー本部 アーキテクトグループ 担当ディレクター

笠原 裕 (カサハラ ユタカ)
会社名: 日本電気株式会社
役職: R＆Dユニット ソリューション開発研究本部 開発研究本部長

大津山 隆 (オオツヤマ タカシ)
会社名: 日本ヒューレット・パッカード株式会社
役職: エンタープライズストレージ・サーバ統括本部 マーケティング本部 市場開発部 担当部長

丸山 修 (マルヤマ オサム)
会社名: 日本ユニシス株式会社
役職: 執行役員 サービスビジネス開発本部長

小塚 潔 (コヅカ キヨシ)
会社名: 株式会社日立製作所
役職: ソフトウェア事業部 事業部長

山本章治 (ヤマモト ショウジ)
会社名: 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
役職: 執行役専務

浜 文男 (ハマ フミオ)
会社名: 富士ソフトABC株式会社
役職: 専務取締役

弘末 清悟 (ヒロスエ セイゴ)
会社名: 富士通株式会社
役職: ソフトウェア事業本部 開発企画統括部 統括部長

安藤 浩二 (アンドウ コウジ)
会社名: マイクロソフト株式会社
役職: デベロッパーマーケティング本部 部長

[監事]

早瀬 雅之 (ハヤセ マサユキ)
会社名: 株式会社ジャストシステム
役職: 社長室 部長

水谷 学 (ミズタニ マナブ)
会社名: ピーシーエー株式会社
役職: 常務取締役

会 長

NTTソフトウェア株式会社	鶴保 征城

副会長

インフォテリア株式会社	平野 洋一郎
日本アイ・ビー・エム株式会社	田原 春美

事務局長

富士ソフトABC株式会社	田中 一彦

運営委員会

イースト株式会社	下川 和男
インフォテリア株式会社	平野 洋一郎
NTTソフトウェア株式会社	妹尾 正身、小林 良介
株式会社NTTデータ	遠城 秀和
株式会社大塚商会	岡部 恵造、都志 陽介
株式会社ジャストシステム	澤崎 章二
東芝ソリューション株式会社	久保田 敏男
日本アイ・ビー・エム株式会社	田原 春美 (運営委員会議長)、武用 佳哲
日本オラクル株式会社	鈴木 俊宏、蒔田 賢治

日本電気株式会社	西野 陽一郎、杉山 高弘
日本ユニシス株式会社	阪口 喜好、藤城 雄二
株式会社日立製作所	大場 みち子、坂川 浩二郎
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社	中村 輝雄、藤岡 秀樹
富士通株式会社	木庭袋 圭介

3．2003 年度 活動実績

1．会員数 ： 2004 年 3 月 31 日　226 社 (特別会員 1 社含む)

2．活動実績

(1) 総会開催

①第 3 回総会

開催日時　2003 年 5 月 7 日
開催会場　東京コンファレンスセンター(東京 飯田橋)
総会参加　169 社 240 名 (総会～懇親会 延べ社数･人数)

②2003 年度臨時総会

開催期間　2004 年 2 月 18 日から 3 月 3 日
議決方法　審議票を FAX にて回収
審議票回収　195 社 (会員数： 233 社、 回収率 83.7%)

(2) 理事会及び運営委員会開催

･理事会 ： 年次 1 回＋臨時 1 回

2003 年 5 月 7 日	2003 年 12 月 11 日 (臨時)

･運営委員会 ： 月次 12 回＋総会準備 5 回

2003 年 4 月 17 日	2003 年 10 月 9 日	2004 年 4 月 15 日 (臨時)
2003 年 4 月 24 日 (臨時)	2003 年 11 月 20 日	2004 年 4 月 22 日 (臨時)
2003 年 4 月 30 日 (臨時)	2003 年 12 月 11 日	2004 年 5 月 13 日
2003 年 6 月 12 日	2004 年 2 月 4 日	2004 年 5 月 21 日 (臨時)
2003 年 7 月 10 日	2004 年 3 月 1 日	
2003 年 8 月 21 日	----------	
2003 年 9 月 11 日	2004 年 4 月 8 日	

･Web サービス推進委員会：月次 12 回

2003 年 4 月 17 日	2003 年 10 月 9 日	----------
2003 年 6 月 12 日	2003 年 11 月 20 日	2004 年 4 月 8 日
2003 年 7 月 10 日	2003 年 12 月 11 日	2004 年 5 月 13 日
2003 年 8 月 21 日	2004 年 2 月 4 日	
2003 年 9 月 11 日	2004 年 3 月 1 日	

(3) セミナー開催 ：

･月例セミナー 8 回、大阪セミナー 3回、 ユーザーシンポジウム 1回

会員	399 社	654 名
非会員	138 社	177 名
プレス	17 社	17 名
合計	554 社	848 名

添付資料 2003 年度セミナー開催 参照

(4) 部会活動成果発表

･中間成果発表会 (第 5 回 XML コンソーシアム Day)

2003 年 1 月 22 日～23 日 計 2 日間

会員	105 社	154 名
非会員	40 社	46 名
合計	145 社	200 名

添付資料 2003 年度セミナー開催 参照

･部会成果発表会 (第 2 回 XML コンソーシアム Week)

2003 年 5 月 26 日～6 月 2 日 計 6 日間

会員	231 社	402 名
非会員	120 社	133 名
合計	351 社	536 名

･部会成果発表会 (第 3 回 XML コンソーシアム Week)

2004 年 5 月 17 日～5 月 24 日 計 5 日間

会員	161	社	283	名
非会員	57	社	74	名
合計	220	社	360	名

(5) 啓蒙･広報･宣伝活動 ：

①XML コンソーシアム エバンジェリストの追加選任 1 名

日本電気株式会社 岸上 信彦 様

②広告掲載

･XML ビジネス白書 2004 翔泳社 2004 年 1 月 刊

(6) 外部団体との協業関係 (順不同)

①アライアンスパートナー

XBRLJapan

電子商取引推進協議会

製造業 XML 推進協議会

②)標準化支援

社団法人 日本旅行業協会

③Web サービス実証実験システム構築

社団法人 日本観光協会

④マーケティング活動支援

WS-I JSIG

OMG

DOPG

(7) 外部団体へのコンタクト (順不同)

･社団法人日本航空宇宙工業会
･製造業 XML 推進協議会
･PSLX コンソーシアム
･日本自動車部品工業会
･日本照明器具工業会
･日本塗料工業会
･全国石油商業組合連合会
･日本塗装機会工業会
･日本電子出版協会
･日本観光協会
･日本旅行業協会
･日本映像ソフト協会
･石油産業活性化センター

(8) 部会活動

･部会リーダー･ミーティング 月次

･部会開催

XML テクノロジー部会	12 回	
応用技術部会	11 回	
VoiceXML 部会	3 回	
ドキュメント部会	3 回	
ContactXML 部会	2 回	
TravelXML 標準化部会	3 回	(作成 WG 8 回、普及啓蒙 WG 4 回)
コンテンツ利用情報標準化部会	2 回	

(9) 実証実験、標準仕様実装デモ開発

･「Web サービス観光情報集配信モデル実証実験」
観光情報 Web サービス実証プロジェクト
･「TravelXML を利用した Web サービス実証実験」
応用技術部会 Web サービス WG、VoiceXML 標準化部会
･「音声ポータル実証実験」
VoiceXML 部会 アプリ検討 WG
･「SAML,XML Signature, XML Encryption 実装デモ」
応用技術部会セキュリティWG
･「ＰＤＡへのＰ２Ｐプロトコル実装デモ」
応用技術部会ＰＤＡ WG

(10) 標準化仕様策定
・ContactXML Version 1.1a 公開
・ContentsBusinessXML 勧告案公開、勧告発表
・TrvelXML Version 1.0 勧告案公開
Version 1.0 勧告、1.1 勧告案公開
Version 1.1.1 勧告

(11) HomePage 更新
・コンテンツ更新（日時/随時）
- 月例セミナー等開催案内
- 部会開催案内
- XML ステータス・レポート更新
- 協賛・後援イベント案内掲載

(12) 外部セミナーへの講師派遣 13 回 17 名 (4 月以降： 2 回 4 名)
・UML Forum/Tokyo 2003 2003 年 4 月 16-17 日
XML コンソーシアムエバンジェリスト 鈴木俊宏 氏（日本オラクル）
・総務省研究会 第 1 回 「各省庁 IT 担当者向け XML/Web サービスセミナー」 2003 年 4 月 11 日
XML コンソーシアム副会長 平野洋一郎氏（インフォテリア）
・電気通信大学共同研究センター 第 51 回研究開発セミナー 2003 年 5 月 14 日
電気通信大学共同研究センター 電気通信大学 80周年記念会館 3階フォーラム
「XML、Webサービスとは何か？」
XML コンソーシアム副会長 平野洋一郎氏（インフォテリア）
「Webサービスによるビジネス統合のかたち ～技術と動向～」
XML コンソーシアムエバンジェリスト 大場みち子氏（日立）
「Webサービスを実ビジネスのどう適用するか ～事例を通じて～」
XML コンソーシアムエバンジェリスト 米持幸寿氏（日本 IBM）
・ビジネスショウ 2003 2003 年 5 月 21 日 日本経営協会 東京ビッグサイト（東京国際展示場）
「XML のもたらすビジネスインパクト」
XML コンソーシアムエバンジェリスト 江島健太郎氏（インフォテリア）
・eEnterprise Tokyo 2003 2003 年 6 月 4 日 IDG Japan 青山ダイヤモンドホール
「ビジネス・コラボレーション時代を実現する XML/Web サービスの現在と未来」
XML コンソーシアム副会長 平野洋一郎氏（インフォテリア）
・OSPG 2003 年度第 1 回開発技術研究部会 2003 年 6 月 4 日 日立製作所大森 第 2 別館
「XML Query の概要について」 山本浩一氏
千葉恭弘氏
大庭幹生氏
・製造業XMLフォーラム2003 2003 年 6 月 19 日
財団法人 製造科学技術センター 東京ファッションタウンビル
「XML コンソーシアムの活動紹介」
XML コンソーシアム副会長 田原春美氏 （日本 IBM）
・ネットワークテクノロジー セミナー 2003 年 9 月 26 日 （株）ネットワークテクノロジー
XML コンソーシアムエバンジェリスト 岡部恵造氏（大塚商会）
・第9回 PML 研究会定例会 2003 年 10 月 24 日
PML 研究会 （財）児童育成協会 こどもの城研修室
「XML コンソーシアムの活動紹介」
XML コンソーシアム副会長 平野洋一郎氏（インフォテリア）
・XML マスターDAY 2003 2003 年 11 月 25 日
XML 技術者育成推進委員会 青山ダイヤモンドホール
「XML による標準化および Web サービスの最新動向」
XML コンソーシアム副会長 田原春美氏 （日本 IBM）
・第 6 回インターネット時代の COBOL 活用セミナー 2003 年 12 月 11 日
COBOL コンソーシアム サンケイプラザ
「COBOL ユーザのための XML 概説」
XML コンソーシアムエバンジェリスト 大場みち子氏（日立）
・NET&COM 2004 2004 年 2 月 5 日
「電話による Web アクセスの可能性－音声ポータル実証実験－」
XML コンソーシアム VoiceXML 部会 アプリケーション検討 WG
渡辺 聡 氏（沖電気工業）
・国際新聞電気通信評議会(IPTC) アテネ春季拡大会議 2004 年 3 月 18 日
「a format checker software and web services for NewsML」
XMLコンソーシアム 応用技術部会 藤原 隆弘氏（イースト）
（講演の中で、応用技術部会の活動成果「NewsML地域コード変遷管理」実装について発表）

・ビジネスショウ TOKYO 2004 2004 年 5 月 12 日 東京ビッグサイト
～デジタルドキュメントソリューションセミナー「XMLが変える新・業種別標準化とその活用事例」～
⑴「XML新時代：XMLの新しい展開を知り、勝つビジネスを仕掛ける」
XMLコンソーシアム副会長 平野 洋一郎 氏（インフォテリア）
⑵「XMLとWebサービス活用事例 「辞書、書籍、新聞、地図」」
XMLコンソーシアム理事 下川 和男 氏（イースト）
⑶「モデリングベースの新しい標準化活動」
XMLコンソーシアム 標準化推進委員会議長 遠城 秀和 氏（NTTデータ）
・製造業 XML フォーラム 2003 2003 年 6 月 8 日
財団法人 製造科学技術センター 新丸コンファレンススクエア大会議室
「XML コンソーシアムの活動紹介」
XMLコンソーシアム副会長 田原 春美 氏 （日本IBM）

(13) 外部主催イベントに対する協賛/後援 11 回（4 月以降 1 回）
・UML Forum/Tokyo 2003 後援 2003 年 4 月 16-17 日
会場：青山テピア
主催：OMGJapan
・IBM Software World 2003 後援 2003 年 5 月 27 日（火）-29 日（木）
会場：東京国際フォーラム
主催：日本アイ・ビー・エム株式会社
・eEnterprise Tokyo 2003 後援 2003 年 6 月 4 日-5 日
会場：青山ダイヤモンドホール
主催：IDG ジャパン
・Topic Maps seminar 協賛 2003 年 6 月 10 日
会場：中央大学 駿河台記念館
主催：株式会社シナジー・インキュベート
・NetWorld＋Interrop2003Tokyo 協賛 2003 年 6 月 30 日-7 月 4 日
会場：幕張日本コンベンションセンター
主催：NetWorld＋Interrop2003Tokyo 実行委員会
・Web Services Conference 協力 2003 年 7 月 17 日-18 日
会場：渋谷マークシティ ルネッサンスセンター
主催：IDG ジャパン
・Progress Forum 2003 後援 2003 年 8 月 5 日
会場：東京丸の内ホール
主催：プログレス ソフトウェア株式会社
・稚内北星学園大学セミナー 協賛 2003 年 10 月 17 日-2004 年 1 月 23 日（4 回）
会場：稚内北星学園大学
主催：稚内北星学園大学
・SFC Open Research Forum 2003 協力 2003 年 11 月 20 日-21 日
会場：六本木ヒルズ
主催：慶應義塾大学 SFC 研究所
・OracleWorld Tokyo 2003 後援 2003 年 12 月 17 日-18 日
会場：東京国際展示場
主催：日本オラクル株式会社
・Developers Summit 200 協賛 2004 年 1 月 29 日-30 日
会場：品川東京コンファレンスセンター
主催：翔泳社

・China Japan International Joint Forum 2004 年 6 月 15 日(火)
・OASIS Open Standards Days Tokyo 20042004 年 6 月 16 日(水)
会場：ミツビシモータースホール 3F
主催：中国標準化研究院、東アジア電子商取引協会、OASIS

(14) プレス・リリース 6 回 （4 月以降 1 回）
・2003 年 5 月 7 日 「XML コンソーシアム、日本観光協会の実データを利用し実用に即した Web サービスの検証実験に成功」
・2003 年 5 月 26 日 ＸＭＬコンソーシアムとデジタルコンテンツ協会、コンテンツの配信許諾および利用許諾取引の標準「ContentsBusinessXML」勧告案を公開
・2003 年 9 月 24 日 「日本旅行業協会」と「ＸＭＬコンソーシアム」旅行業界における電子商取引の標準「TravelXML」の開発を終了勧告案の公開を開始
～IT ベンダー１２社が対応を表明し、旅行産業の業務スピードと顧客サービスの向上に弾み～
・2003 年 9 月 29 日 ＸＭＬコンソーシアムとデジタルコンテンツ協会、コンテンツの配信許諾および利用許諾取引の

標準「ContentsBuisinessXML」勧告を発表
～コンテンツ取引のための著作権事務処理の効率的、円滑化による流通市場拡大をめざして～

・2003 年 11 月 28 日 「日本旅行業協会」と「ＸＭＬコンソーシアム」旅行業界における電子商取引の
標準「TravelXML 1.0」を勧告化、同時に「TravelXML 1.1」を勧告案化し、公開を開始
～勧告化により、実際のビジネスでの利用に弾み～

・2004 年 2 月 16 日 「日本旅行業協会」と「ＸＭＬコンソーシアム」旅行業界における電子商取引の標準「TravelXML 1.1.1」勧告を発表
～標準化の第一フェーズを完了、普及にいっそうの弾み～

・2004 年 5 月 20 日 XML コンソーシアム、旅行業界における電子商取引の標準
～「TravelXML」を利用し，実用に向けた Web サービスの実証実験に成功～

(15) プレス取材・執筆依頼 3 回

取 材

・ビジネスコミュニケーション「『XML コンソーシアム』と『Web サービス推進委員会』の活動について」
副会長 田原春美 氏（日本 IBM）
Web サービス推進委員会委員長 エバンジェリスト 岡部恵造 氏（大塚商会）

・日経ＢＰ社・日経コンピュータ「TravelXML について」
副会長 平野洋一郎 氏（インフォテリア）

・日経ＢＰ社・日経アドバンテージ「ビジネスを変える最新 IT」
Web サービス推進委員会委員長 エバンジェリスト 岡部恵造 氏（大塚商会）
副会長 平野洋一郎 様 （インフォテリア）

執 筆

執筆協力：翔泳社発行「ＸＭＬビジネス白書 2004」
企画・編集協力：XML パブリッシングフォーラム「ＸＭＬガイドライン」

(16) アンケート実施

・「XML・Web サービス普及度調査アンケート」2004 年 1 月 14 日～27 日実施

第2号議案

2003年度　収支報告

XMLコンソーシアム

収支計算書

平成 15 年 4 月 1 日 から 平成 16 年 3 月 31 日 まで

	予算	実績	差額	備考
1．収入の部				
前年度繰越	12,097,400	12,097,400	0	
年会費	25,000,000	22,600,000	2,400,000	
雑収入	0	142,162	△142,162	セミナー参加費、受取利息
収入の部合計	**37,097,400**	**34,839,562**	**2,257,838**	
2．支出の部				
総会開催費	5,600,000	3,325,846	2,274,154	総会/理事会：会場費、設備費等
月次セミナー費	1,000,000	139,750	860,250	
成果発表会開催費	4,000,000	1,213,578	2,786,422	
地方セミナー開催費	1,000,000	237,950	762,050	
ユーザー・シンポジウム開催費	1,000,000	1,049,421	△49,421	
ホームページデザイン費	3,000,000	2,068,500	931,500	
ホームページ運用費	1,500,000	1,450,390	49,610	
部会・推進委員会支援金	700,000	652,751	47,249	各部会の活動支援金
広告宣伝費	1,000,000	399,000	601,000	
業務委託費	15,750,000	11,550,000	4,200,000	事務局業務委託費用
通信費・車両運送費	750,000	335,028	414,972	TEL/FAX 料金、郵便、宅急便等の費用
旅費交通費	300,000	230,630	69,370	
事務消耗品費	700,000	557,017	142,983	コピー機保守（カウンタ）費用、事務用品費用等
雑費	750，000	529,645	220,355	コピー機リース費用、振込手数料、書籍/ソフトウェア購入費用
予備費	47,400	0	47,400	
当期末繰越資金		11,100,056	△11,100,056	
支出の部合計	**37,097,400**	**34,839,562**	**2,257,838**	

貸借対照表

平成 16 年 3 月 31 日現在

科　　目	金　　額	
・資産の部		
現金・預金	11,100,056	(現金 11,683 円 預金 11,088,371 円)
流動資産合計	11,100,056	
資産合計		11,100,056
・負債の部		
負債合計		0
・正味財産の部		
正味財産合計		11,100,056
負債及び正味財産合計		11,100,056

財産目録

科　　目	細　　目	金　　額
・資　産		
現金	手許有高	11,683
普通預金		11,088,373
	ＵＦＪ銀行錦糸町支店	11,088,372
	東京三菱銀行錦糸町支店	1
・負　債		0

監査報告書

平成16年 4月 12日

XMLコンソーシアム
会長 綱保 征城 殿

監事
株式会社ジャストシステム
早瀬 雅之

ビーシーエー株式会社
水谷 学

私ども監事は、XMLコンソーシアム規約第31条に基き、平成15年4月1日より平成16年3月31日までの2003年度における会計及び業務について監査を行い、次のように報告します。

記

1.監査の方法と概要

(1)会計監査の為、帳簿並びに関係書類の閲覧をし、貸借対照表、収支計算書、財産目録について検討し、必要と思われる監査手続きを用いて調査した。

(2)業務監査のため関係書類の閲覧をし、業務執行について検討し、必要と思われる監査手続きを用いて調査した。

2.監査意見

(1)貸借対照表、収支計算書、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法令及び規約に従って、XMLコンソーシアムの財産及び収支を正しく示していると認める。

(2)事業報告書の内容および業務執行に関して、不正行為または法令もしくは規約に違反する事実はないことを認める。

以上

第3号議案

2004年度　活動／予算計画承認の件

XMLコンソーシアム

1．2004 年度 基本方針

■基本方針(会員規約改定：第3条, 第4条)

1．「ＸＭＬコンソーシアム」の名称を継承し、XML、Webサービスに SOAを加え下記の活動を実施する。
- (1) 普及・啓蒙
- (2) 研究・実証
- (3) 標準化推進

2．ＸＭＬコンソーシアムの特質・特徴の保持、更なる充実を図る。
- (1) 中立性
- (2) 他団体との協業
- (3) 一社ではできない活動、競合関係を超えた活動
- (4) 人的ネットワークの構築
- (5) 成果物の公開

■重点施策

1．新規性

・将来を見据えた新しい活動テーマとしてSOA(Service Oriented Architecture)を設定
=> ＳＯＡ部会の新設

・社会基盤に対するＸＭＬ，Webサービス、ＳＯＡの有用性の研究、検証、訴求
=> ユビキタス・組み込み部会の新設
=> 他団体（例：YRPユビキタスネットワーキング研究所等）との協業

・ビジネスに対するＸＭＬ，Webサービス、ＳＯＡの有用性の研究、検証、訴求
=> ビジネス・イノベーション研究部会の新設
=> 他団体との協業による補完活動

2．強化・改善点

・利用者の視点からの普及啓蒙活動
=> 特定業種をテーマとする実証実験、成果物の一般公開
標準化支援活動との連携による実証実験、標準仕様実装デモ構築実装のためのガイダンス作成等

・ユーザー企業に対する普及啓蒙活動
=> ユーザー・シンポジウム
=> ユーザーのためのXML、Webサービス、SOA活用講座

・最先端技術への取り組み強化（勉強会、検証実験、 BOF的な情報交換会）
=> 技術系の部会と運営委員会との協業
=> ＸＭＬコンソーシアム主催セミナーへの取り込み

・標準化の推進
=> 日本旅行業協会とのTravelＸＭＬフェーズ2共同開発
=> OASISとの協業形態の検討
=> 業界団体との協業検討

・グローバルな標準化団体に対する日本発標準仕様の提案
=> 音声ポータル実証実験結果に基くVoiceXML Ｖ3への提案活動
=> TravelXML勧告の提案活動

・地方に対する普及啓蒙活動
=>地方支援セミナー・イベント

・他団体との連携
=> 既存の連携関係
国土交通省（観光とIT調査研究会）
日本旅行業協会
XBRL．Japan
ECOM
WS-I ＪSIG
OMG
DOPG
製造業ＸＭＬ推進協議会
=> 新しい連携関係を模索・検討
①情報処理学会
②ＹＲＰユビキタスネットワーキング研究所
③ビジネスモデル学会
④Webサービス イニティアティブ
⑤総務省
⑥OASIS

・情報発信、情報交換基盤の拡充
=> HomePage、MLの改善

■体制
・会員制度・資格の見直し：
=> ITサービス・ビジネスの裾野の広がりに対応し、会員資格の枠を個人事業主に拡大
（会員規約改定：第５条、会費規定改定：第１条）
=> XML,Webサービス、ＳＯＡの知識、スキルを求めている将来のエンジニアへ場を提供するため、
学生会員の新設（会員規約改定： 第４９条、会費規定改定：第２条）
・組織、体制の見直し：
=> コンソーシアムに対するご助言をいただくため、対外的なアピール力が増すことを期待し、顧問制度の新設
・部会の再編成
=> 技術系、ビジネス系、標準化関連の３系列で編成
=> ワーキング・グループの再編
部会に昇格：
応用技術部会の２WG（セキュリティWG、WebサービスWG）
１部会に統合：
XMLテクノロジー部会 セマンテックWeb、複合コンテンツ＋応用技術部会ＤＢ WG+NewsML WG
新設部会に吸収：
VoiceXML部会 －＞ ユビキタス・組み込み系部会 音声応用WG
・新規活動のための部会新設
=> ＳＯＡ部会 （技術系）
=> ユビキタス・組み込み系部会 （技術系）
=> ビジネス・イノベーション研究部会 （ビジネス系）
・運営委員会
=> Webサービス推進委員会： 役割終了のため解散

２．2004年度会員数目標

法人会員、個人事業主会員 ： 240社
学生会員 ： 30名

３．2004年度年間主要活動計画

（年次総会）
2004年 6月11日第４回総会・理事会・懇親会
2005年 6月 第５回総会・理事会・記念セミナー・懇親会

（月次ミーティング）
運営委員会
部会リーダー・ミーティング
部会別月例ミーティング

（随時）
プレスリリース
プレス取材対応
講演・記事執筆活動
他団体との交流会、情報交換会等
HomePage更新作業 (=日次)

（定期開催イベント・セミナー）
部会紹介セミナー 2004年6月28日・7月1日
部会成果発表会
2004年11月下旬 第７回部会中間成果発表会（XMLコンソーシアムDay）
2005年 5月中旬 第４回部会成果発表会（XMLコンソーシアムWeek）
ユーザー・シンポジウム
2004年 10月初旬 第２回ユーザー・シンポジウム
2005年 2月下旬 第３回ユーザー・シンポジウム

(随時開催セミナー・イベント)

■XMLコンソーシアムセミナー　6回以上

・XML、Webサービス、SOAに関連する最新/技術情報、動向等をセミナー形式で情報提供する。

・従来の「月例セミナー」を、「XMLコンソーシアムセミナー－○○○－」と名称変更する。
技術名や対象、キーワードをセミナータイトルに入れることにより、内容が分かるようにする。

・セミナー毎に運営委員会や部会、エバンジェリストなどに「セミナーリーダー」を依頼し、講演内容の一層の充実を図る。

■ユーザーのためのXML、Webサービス、SOA活用講座　3－4回

・ベンダー企業とユーザ企業のXML/Webサービスの取組み状況・意識について、XMLコンソーシアムの会員アンケートにも見られるようなギャップが存在している。

・昨年度、ユーザ企業へのXML/Webサービスの普及・啓蒙の施策として、2004年2月に「ユーザシンポジウム」を開催し、好評をえた。

・今年度は、ユーザーが語るユーザーのための「ユーザー・シンポジウム」に加え「ユーザーのためのXML,Webサービス,SOA活用講座」を開催予定。

・XMLやWebサービス,SOAの基礎知識や活用する際にビジネスモデル考察の参考となるセミナーを講座形式で開催し、エバンジェリスト等からの講義や参加者同士のディスカッションを行なう。

・ユーザー・シンポジウムは一回100名規模で実施するが、活用講座は20－30名規模とし、3-4回程度の開催を予定。

＜企画案＞

・受講対象者:
ユーザ企業でITや戦略企画に従事されている方、SOA/XML/Webサービスに関心をお持ちの方
IT企業でこれらの技術を適用したいと考えている方

・目的:
SOA、XML、Webサービスに関する基礎知識を習得し、これら技術を活用したビジネス変革や新しいビジネス・モデルを考案するための基礎知識を養成する。

・内容案:XMLコンソーシアム・エバンジェリスト等によるセミナー、デスカッション・タイム
セミナー:「今さら聞けないXML/Webサービス入門」
「XML/Webサービス活用事例」
「SOAがもたらすビジネス変革」
ディスカッション:「どう使えるXML/Webサービス」
「XML/Webサービスの業務への活用検討」　など

・開催時期:2004年7月～9月(予定)　*応募多数や好評の場合は追加実施も検討
短期集中講座あるいは業務終了後など受講者の参加し易い方法で開催の予定。

・会場:会員企業のセミナールーム/会議室

・参加費:XMLコンソーシアム会員　:無料
非会員　:有料(後日発表)

■地方支援セミナー・イベント　3回以上

・首都圏以外でのXML、Webサービス、SOAの普及啓蒙と中核となる人材の育成、地方会員の拡大を図ることを目的とする。

・昨年度の大阪セミナーは概ね好評で、継続を望む声が多い。その経験と反省を生かした新しい企画で地方におけるセミナーを継続する。

①XMLの普及啓蒙を行っている団体、企業と協力し、適宜、セミナーやイベントに参加する。
(講師の派遣、デモ出展等)

②XMLコンソーシアム主催、地方団体共催/協賛による地方巡回セミナーを開催する。
候補地として、大阪、名古屋、札幌、福岡、広島、仙台　等を予定。

③地方の特性、普及度、参加者の要望や意識などを勘案し、内容を吟味する。

④地方におけるセミナー企画、運営母体の確立

■外部主催イベントへの協力　5回以上

・外部主催の催事に対し共催、協賛、協力し、普及啓蒙活動を行う。
注:　外部とは、会員会社、他団体およびイベント会社を指す。
催事とは、展示会やセミナーを指す。

・XMLコンソーシアムは、主として講演会でのセミナー、展示会でのブース出展を行う。

4．2004 年度　予算計画

	予　算	備　考
収入の部		
前年度繰越金	\11,100,056	
年会費	\20,550,000	企業会員　10 万円×200 社 個人事業主 10 万円×5 社 学生会員　5 千円×10 名
セミナー参加費	\200,000	2,000 円×100 名
収入の部合計	**\31,850,056**	

支出の部		
総会開催費	\3,200,000	総会/理事会： 会場費、設備費、配布資料印刷費用、
定例セミナー開催費	\200,000	配布資料印刷費用等： 2 万円×10 回
成果発表会開催費	\750,000	会場費、設備費、配布資料印刷費用 Day ：5 万円×3 日+機材レンタル費用 15 万円 Week：5 万円×6 日+機材レンタル費用 15 万円
地方セミナー開催費	\400,000	会場費、設備費、配布資料印刷費用、スタッフ交通費等： 20 万円×2 回
ユーザー･シンポジウム開催費	\2,000,000	会場費、設備費、配布資料印刷費用、スタッフ交通費等： 100 万円×2 回
サーバー移設費	\1,900,000	外注予定
Web 管理システム改装費	\1,500,000	外注予定
サーバー運用費	\1,800,000	サーバーホスティング費（ML 含む）： 150,000 円×12 ヶ月
部会･推進委員会支援金	\1,000,000	8 部会、標準化推進委員会
広告宣伝費	\1,000,000	雑誌広告：版下作成･掲載
業務委託費	\13,650,000	事務局業務委託費用：105 万円×13 ヶ月
通信費･車両運搬費	\360,000	TEL/FAX 料金、郵便、宅急便等の費用： 3 万円×12 ヶ月
旅費交通費	\240,000	2 万円×12 ヶ月
事務消耗品費	\600,000	コピー機保守（カウンタ）費用、事務用品費用等： 8 万円×12 ヶ月
雑費	\600,000	コピー機リース費用、振込手数料、書籍/ソフトウェア購入： 5 万円×12 ヶ月
予備費	\2,650,056	
支出の部合計	**\31,850,056**	

第4号議案

2004年度　理事／監事選任の件

XMLコンソーシアム

XMLコンソーシアム役員構成

[理事候補]

上野　守生　(ウエノ　モリオ)
会社名:　　亜細亜証券印刷株式会社
役職:　　代表取締役社長

下川　和男　(シモカワ　カズオ)
会社名:　　イースト株式会社
役職:　　常務取締役

平野洋一郎　(ヒラノ　ヨウイチロウ)
会社名:　　インフォテリア株式会社
役職:　　代表取締役社長

長野　宏宣　(ナガノ　ヒロノブ)
会社名:　　NTTコムウェア株式会社
役職:　　取締役 ビジネス創出部長

鶴保　征城　(ツルホ　セイシロ)
会社名:　　NTTソフトウェア株式会社
役職:　　取締役相談役

山本　修一郎　(ヤマモト　シュウイチロウ)
会社名:　　株式会社NTTデータ
役職:　　技術開発本部　副本部長

塩川　公男　(シオカワ　キミオ)
会社名:　　株式会社大塚商会
役職:　　:取締役室長　B2B推進室

植松　裕次　(ウエマツ　ユウジ)
会社名:　　サン・マイクロシステムズ株式会社
役職:　　執行役員チーフテクノロジスト

浮川　初子　(ウキガワ　ハツコ)
会社名:　　株式会社ジャストシステム
役職:　　代表取締役専務

守安　隆　(モリヤス　タカシ)
会社名:　　東芝ソリューション株式会社
役職:　　SI技術開発センター　参事

田原　春美　(タハラ　ハルミ)
会社名:　　日本アイ・ビー・エム株式会社
役職:　　ソフトウェア事業部　エマージング・テクノロジープログラム担当　部長

鈴木　俊宏　(スズキ　トシヒロ)
会社名:　　日本オラクル株式会社
役職:　　プロダクトSC本部 アーキテクトグループ 担当ディレクター

笠原　　裕　(カサハラ　ユタカ)
会社名:　　日本電気株式会社
役職:　　ソリューション開発研究本部 開発研究本部長

大津山　隆　(オオツヤマ　タカシ)
会社名:　　日本ヒューレット・パッカード株式会社
役職:　　マーケティング統括本部　担当部長

小林 正己 (コバヤシ マサミ) 理事交代
会社名: 日本ユニシス株式会社
役職: 執行役員 ビジネスイノベーション本部長

石井 清 (イシイ キヨシ) 新 任
会社名: 株式会社日立システムアンドサービス
役職: オープンソリューション本部 本部長

小塚 潔 (コヅカ キヨシ)
会社名: 株式会社日立製作所
役職: ソフトウェア事業部 事業部長

中村 輝雄 (ナカムラ テルオ) 理事交代
会社名: 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
役職: ソリューション企画本部 本部長

浜 文男 (ハマ フミオ)
会社名: 富士ソフトABC株式会社
役職: 専務取締役

弘末 清悟 (ヒロスエ セイゴ)
会社名: 富士通株式会社
役職: ソフトウェア事業本部 開発企画統括部 統括部長

安藤 浩二 (アンドウ コウジ)
会社名: マイクロソフト株式会社
役職: デベロッパーマーケティング本部 部長

國井 秀子 (クニイ ヒデコ) 新 任
会社名: 株式会社リコー
役職: 執行役員

【監事候補】

早瀬 雅之 (ハヤセ マサユキ)
会社名: 株式会社ジャストシステム
役職: 社長室 部長

水谷 学 (ミズタニ マナブ)
会社名: ピーシーエー株式会社
役職: 開発技術担当CTO

第５号議案

会員規約改定の件

ＸＭＬコンソーシアム

会員規約改定の件

1. 第3条(目的)： 活動テーマの拡大に伴うWebサービスおよびＳＯＡへの取り組み明文化
2. 第4条（活動）： 目的の条文改定に伴う活動内容の規定追加および並び替え
3. 第2章会員　第5条（種別）： 下記3点の改定
   ①WebサービスおよびSOAを追加
   ②「業務を営む」を削除
   ③個人事業主を追加： ITサービス・ビジネスの裾野の広がりに対応し、会員資格を個人事業主に拡大する。
4. 第４８条（顧問）： 下記事由による顧問の新設
   事由： 当コンソーシアムの活動指針や活動全般、あるいは、特定の部会活動や委員会活動に関し、XMLコンソーシアム外の有識者個人（主としてアカデミック分野）から助言や支援を受けるとともに、当コンソーシアムの認知度向上や対外的なアピールにご尽力いただく。
5. 第４９条（学生会員）： 当会が企画・主催するセミナーやイベントに参加できる学生会員を、下記事由により新設する。
   事由： ＸＭＬ，Ｗｅｂサービス、ＳＯＡに関する知識やスキルを求めて当コンソーシアムの活動に参加希望する学生を受け入れることは、当コンソーシアムの目指す普及啓蒙活動の一環であるとともに、未来のエンジニアを育成することにも繋がる。

6.会費規定　第１条： 第5条(種別)に個人事業主を追加することに伴う規定の追加
7.会費規定　第2条： 第４９条に学生会員を規定することに伴う規定の追加

(目的)
第3条 本会は日本における XML（eXtensible Markup Language 以下「XML」という）、Web サービス、ＳＯＡ(Service Oriented Architecture 以下「ＳＯＡ」という)関連の普及啓蒙、アプリケーション開発及びシステム構築の推進、ならびに XMLボキャブラリーの標準化を支援する非営利団体である。

（活動）
第4条　本会は、前条の目的を達成するため、以下の活動を行う。
（1）XML、Web サービス、ＳＯＡのビジネスおよび社会基盤に対する有用性の研究
（2）XML、Web サービス、ＳＯＡを活用したアプリケーション開発及びシステム構築の普及促進
（3）XMLボキャブラリー標準化の促進ならびに普及啓蒙
（4）XML、Web サービス、ＳＯＡに関する情報の収集、交換ならびに提供
（5）XML、Web サービス、ＳＯＡの情報を集約したポータルの構築
（6）国内外の他コンソーシアムとの連携協力
（7）前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な活動

第2章　会員
（種別）
第5条　本会の会員は、XML、Webサービス、ＳＯＡに関わる法人および個人事業主の内、会費規定に定めた所定の会費を納めたものとする。但し、特に理事会の承認を得た場合にはこの限りでない。
また、本会の目的達成のため必要に応じて特別会員をおくことができる。

（顧問）
第４８条　本会は、本会の指針や活動全般、あるいは特定の部会活動や委員会活動等に関し、有識者からの助言や支援を受けるために顧問を置き、その支援を受けることができる。
２　顧問への登録は理事会の承認を得て行なわれる。
３　顧問への登録に際して会費の徴収はしない。
４　顧問による議決権の行使は出来ない。
５　顧問は本会からの要請に応じ、総会、理事会、運営委員会およびその下部組織である委員会に参加することができる。
６　顧問は本会からの要請に応じ、部会活動に参加することができる。

（学生会員）
第４９条　本会は、普及啓蒙活動の一環として学生会員を置くことができる。
２　学生会員への登録は理事会の承認を得て行なわれる。
３　学生会員は総会の定める会費規定に基づき、会費を納入しなければならない。
４　学生会員による議決権の行使は出来ない。
５　学生会員は本会の企画・主催するセミナーに参加することができる。
６　学生会員は本会から要請のある場合に限り、部会活動に参加することができる。

●会費規定
第1条　企業会員および個人事業主会員の年会費は次の通りとする。
１０万円
第2条　学生会員の年会費は次の通りとする。
５千円